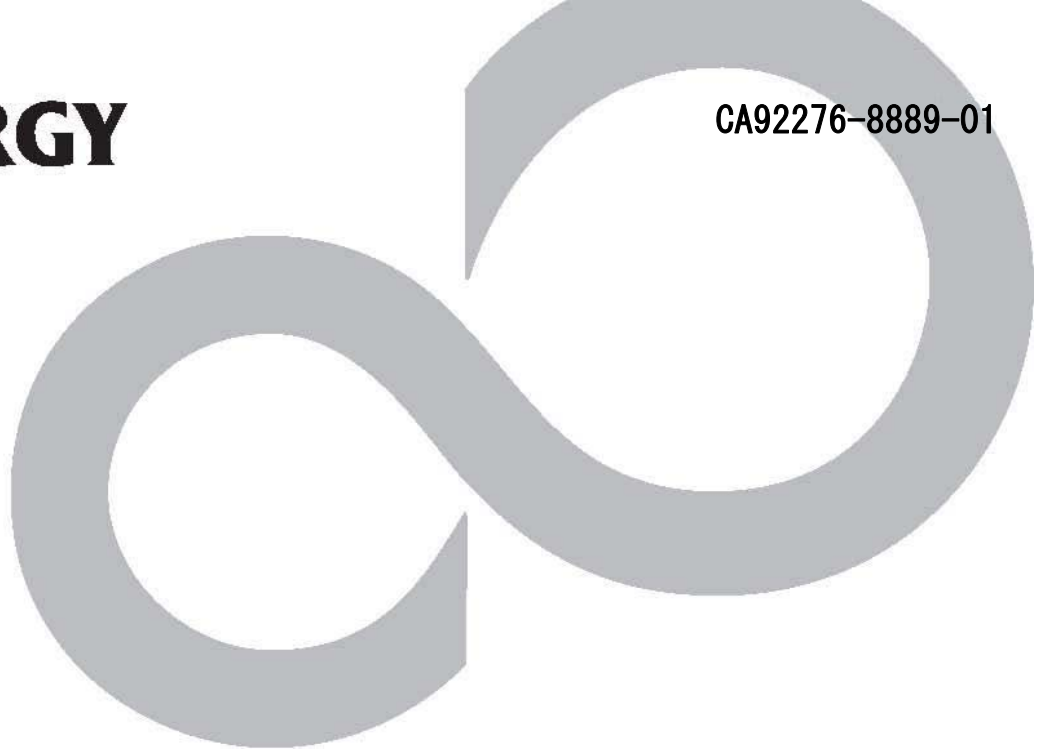


PRIMERGY

CA92276-8889-01



グラフィックスカード取扱説明書

PG-VGA202 / PG-VGA202L

FUJITSU

本書をお読みになる前に

本製品を安全にお使いいただくための注意事項や、本書で使用している表記について説明しています。

はじめに

このたびは、弊社のグラフィックスカード PG-VGA202 / PG-VGA202L (以後、本製品と呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。



ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2010年 11月



本書の表記

■ 警告表示

本書では下記の絵表示を使っています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例:【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例:【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■ コマンド入力(キー入力)

CD-ROM ドライブのドライブ名を、[CD-ROM ドライブ]で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

[CD-ROMドライブ]:¥setup.exe

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつないで表記しています。

例:「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■ CD-ROM ドライブ / DVD-RAM ドライブの表記について

本書では、CD-ROM ドライブ、DVD-RAM ドライブを「CD-ROM ドライブ」と表記しています。特に断りのない限り、CD-ROM ドライブと記述している部分は、DVD-RAM ドライブを含みます。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を次のように略して表記します。

表:製品名称の略称

製品名称	本文中の表記	
PG-VGA202 / PG-VGA202L	グラフィックスカード 本製品	
MS Windows2003 Web Edition (SP2) MS Windows2003 R2 Standard Edition (SP2) MS Windows2003 R2 Enterprise Edition (SP2) MS Windows Server 2003 Standard x64 Edition (SP2) / R2 MS Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition (SP2) / R2	Windows Server 2003	Windows
MS Windows Server 2008 Web Edition MS Windows Server 2008 Standard Edition MS Windows Server 2008 Enterprise Edition MS Windows Server 2008 Web Edition x64 MS Windows Server 2008 Standard Edition x64 MS Windows Server 2008 Enterprise Edition x64 MS Windows Server 2008 Data Center x64 MS Windows Essential Business Server 2008 MS Windows Server 2008 R2 MS Windows Foundation 2008 R2 MS Windows Web Server 2008 R2 MS Windows Server 2008 R2 Standard Edition MS Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition MS Windows Server 2008 R2 Datacenter Edition	Windows Server 2008	
RedHat Enterprise Linux 5 (for x86)	RHEL5(x86)	Linux
RedHat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	RHEL5(Intel64)	

■ PRIMERGY 情報の提供について

PRIMERGY の最新情報、アップデートモジュール、ドライバ、ソフトウェアについての情報を、以下で提供しています。必要に応じてご活用ください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

目次

第1章 概要	6
1.1 仕様	6
1.2 グラフィックスカードご使用時の注意事項	7
第2章 本製品の取り付け	9
第3章 ドライバとユーティリティの追加	10
第4章 トラブルシューティング	11

第 1 章 概要

1.1 仕様

本製品はサーバ本体のグラフィックス機能を拡張するためのカードです。
本製品の仕様は次のとおりです。

項目	本製品の仕様
品名	グラフィックスカード
型名 [注 1]	PG-VGA202 (Full height) PG-VGA202L (Low profile)
バスインターフェース	PCI Express x1
VRAM 容量	256 MB
コネクタ	DMS-59 コネクタ (DMS-DVI ケーブル、DVI-VGA 変換コネクタによりディスプレイケーブルに接続します)
カードサイズ	幅 : 168 mm (ケーブル部除く) 高さ: 65 mm (ブラケット除く)
消費電力	21 W
サポート OS [注 2]	MS Windows2003 Web Edition (SP2) MS Windows2003 R2 Standard Edition (SP2) MS Windows2003 R2 Enterprise Edition (SP2) MS Windows Server 2003 Standard x64 Edition (SP2) / R2 MS Windows Server 2003 Enterprise x64 Edition (SP2) / R2 MS Windows Server 2008 Web Edition MS Windows Server 2008 Standard Edition MS Windows Server 2008 Enterprise Edition MS Windows Server 2008 Web Edition x64 MS Windows Server 2008 Standard Edition x64 MS Windows Server 2008 Enterprise Edition x64 MS Windows Server 2008 Data Center x64 MS Windows Essential Business Server 2008 MS Windows Server 2008 R2 MS Windows Foundation 2008 R2 MS Windows Web Server 2008 R2 MS Windows Server 2008 R2 Standard Edition MS Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition MS Windows Server 2008 R2 Datacenter Edition RedHat Enterprise Linux 5 (for x86) RedHat Enterprise Linux 5 (for Intel64)
最大解像度/色	1280x1024x32bit

[注 1] PG-VGA202 と PG-VGA202L の違いはブラケット長のみです。

[注 2] 本製品を搭載するサーバ本体のサポート OS もご確認下さい。

本製品を搭載可能なサーバ本体は次のとおりです。

型名	サーバ本体
PG-VGA202	PRIMERGY TX300 S6, TX200 S6, TX150 S7, TX100 S2
PG-VGA202L	PRIMERGY RX200 S6, RX300 S6, TX120 S2, RX100 S6

1.2 グラフィックスカードご使用時の注意事項

■ 重要

本製品をご使用するためには、搭載するサーバ本体の BIOS 版数が、以下に示す版数以降である必要があります。

サーバ本体	BIOS 版数
PRIMERGY TX100 S2	1.02 以降
PRIMERGY TX120 S2	1.05 以降
PRIMERGY TX150 S7	1.05 以降
PRIMERGY RX100 S6	1.05 以降
PRIMERGY RX200 S6	1.02 以降
PRIMERGY TX200 S6	1.06 以降
PRIMERGY RX300 S6	1.01 以降
PRIMERGY TX300 S6	1.01 以降

以下の手順に従い、サーバ本体の BIOS 版数をご確認下さい。

- 1) BIOS セットアップユーティリティ リファレンスマニュアルを参考に、BIOS セットアップユーティリティを起動します。
- 2) <F1>を押して、System Information の画面を表示します。
- 3) BIOS Release 項目の以下の **XXX** の部分をチェックし、上述の表と比較します。

表示例) Version 6.00 R XXX.YYYY.ZZ

最新 BIOS は以下の Web サイトよりダウンロードできます。本製品を搭載するサーバ本体の製品名(例: TX120 S2)、型名(例: PGT1221BA)をご確認のうえ、Web サイトの「ダウンロード」より入手してください。その後、同梱の手順書を参照してアップデートしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

■ 重要

PRIMERGY TX200 S6 にグラフィックスカードを取り付ける際は、PCI Slot5 の BIOS 設定を事前に変更していただく必要があります。(Slot5 に SAS アレイコントローラカード (PG-248K3 / PG-248N3) 搭載される場合の構成を除く)

以下の手順に従い、サーバ本体の BIOS 設定を変更してください。

- 1) BIOS セットアップユーティリティ リファレンスマニュアルを参考に、BIOS セットアップユーティリティを起動します。
- 2) PCI Slot5 の「Option Rom Scan」設定を「Enabled(初期設定)」から「Disabled」に変更します。
「Advanced」メニュー - 「PCI Configuration」サブメニュー - 「PCI SLOTS Configuration」の「Option Rom Scan」にて設定を行ってください。

■ 重要

PRIMERGY TX300 S6 / RX300 S6 にグラフィックスカードを取り付ける際は、Slot7 に他のカード (SAS アレイコントローラカード (*1)PG-248N3 / PG-248K3) (*2)PG-248NL / PG248KL) 除く) の搭載はできませんのでご注意ください。

*1: TX300 S6 の場合

*2: RX300 S6 の場合

- サーバ本体の POST 中や DOS の環境で、本体リセットスイッチや【Ctrl】+【Alt】+【Del】等でサーバ本体をリセットすると、画面が再描画されるまでに 10~15 秒ほど時間が掛かる場合があります。異常ではありませんので再描画が開始されるまでしばらくお待ち下さい。

■本製品では 1280x1024x32bit までをサポートしますが、表示可能な画面の解像度/色およびリフレッシュレートは、接続されるディスプレイ、KVM スイッチやインストールされている OS の種類によって異なります。

■本製品をご使用時はリモートマネジメントコントローラアップグレード(PG-RMCU2)のコンソールリダイレクション機能(Advanced Video Redirection 機能)は未サポートです。

■サーバ本体ご購入後に本製品を追加搭載する際に、既に搭載されているカードの移動が必要な場合があります。その際、移動したカードの再設定(IP address など)が必要となる場合があります。本製品を搭載する前に、移動するカードの設定を控え、本製品のセットアップ後に再設定して頂くようお願いいたします。また移動したカードへのケーブル接続にご注意下さい。

■Linux OS では、マルチディスプレイ及び3D 機能はサポートしていません。

■Linux OS で KVM スイッチを使用する場合は、KVM スイッチ内のモニタ ID データ(EDID)を初期化する必要があります。詳しくは、お使いの KVM スイッチのマニュアルを参照してください。

第2章 本製品の取り付け

本製品を取り付けるときは、次の点に注意してください。

⚠警告



- ・本製品の取り付けや取り外しをするときは、各装置（サーバ本体、周辺装置など）の電源を切り、電源コードをコンセントから取り外してください。電源ケーブルを取り付けたまま作業を行うと、感電の原因となります。
- ・本製品の取り付けが終了してから、サーバ本体に電源コードを接続してください。

- ・本製品の取り付け手順については、取り付けるサーバ本体に添付のマニュアルを参照し、記載されている手順に従って正しく取り付けてください。
- ・サーバ本体によっては、使用方法が制限されている場合があります。

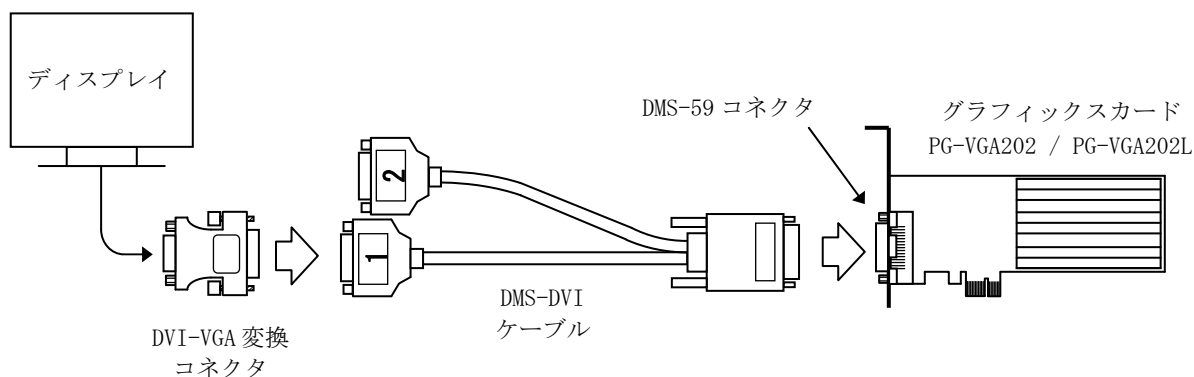
■ PCI カードの搭載位置について

搭載可能な PCI スロット位置は、取り付けるサーバ本体によって異なります。必ず弊社インターネット情報ページ (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) の「システム構成図」を参照し、搭載可能位置を確認してください。

本製品の取り付け手順については、取り付けるサーバ本体の『オプションガイド』を参照し、記載されている手順に従って正しく取り付けてください。

■ ケーブルの接続方法

以下の図を参考に、ディスプレイと本製品を添付されている DMS-DVI ケーブル及び DVI-VGA 変換コネクタを使用して接続してください。



⚠注意



- ・コネクタはしっかりと差し込んでください。正しく差し込まれていないと誤動作の原因となります。
- ・ケーブルの取り付けや取り外しは、必ずコネクタ部分を持って行ってください。コードを引っ張ると故障の原因となります。

第 3 章 ドライバとユーティリティの追加

- Windows の場合

最新のドライバを、次のインターネット情報ページからダウンロードしてご利用ください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

「ダウンロード検索」ページにて、搭載サーバの製品名、型名、およびご使用の OS を選択し、検索してください。

- Linux の場合

適用カーネル版数に応じた ServerView Install Manager、またはアップデートキットをご利用ください。詳細については、次のインターネット情報ページをご覧ください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/technical/>

- Red Hat Enterprise Linux のサポートについて

本製品は、次のバージョン以降の Red Hat Enterprise Linux でサポートされます。

- ・ Red Hat Enterprise Linux 5.3(for x86)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 5.3(for Intel64)

第4章 トラブルシューティング

本製品が正しく動作しない場合は、次の項目を確認してください。
各処置を行ってもトラブルが解消できない場合には、サーバ本体の『はじめにお読み下さい』に記載されている修理相談窓口にご連絡してください。

現象	確認項目	処置
画面が表示されない	接続したディスプレイの電源は入っていますか。	接続したディスプレイの電源を先に入れ、そのあとでサーバ本体の電源を入れてください。
	ケーブルは正しく接続されていますか。	ディスプレイと本製品を添付されているケーブル及びコネクタを使用して接続してください(サーバ本体のディスプレイコネクタには接続しないで下さい)。コネクタ部が奥まで確実に差し込まれているか確認してください。 マルチディスプレイ使用の場合は、ケーブルとコネクタのポート番号の対応が正しいか確認してください。 →「第2章 本製品の取り付け」(P.8)
	本製品が正しいPCI Slotに確実に搭載されていますか。	サーバ本体の電源を切り、カードが正しいPCI slotに確実に差し込まれているか確認してください。 →「第2章 本製品の取り付け」(P.8)
本製品がサーバ本体で認識されない。	コントロールパネルからシステムを実行して、デバイスマネージャのディスプレイアダプタに「NVIDIA *****」が表示されますか。	表示されない場合は、ドライバが正しくインストールされているか確認してください。 →「第3章 ドライバとユーティリティ の追加」(P.9)
	本製品が正しいPCI Slotに確実に搭載されていますか。	サーバ本体の電源を切り、カードが正しいPCI slotに確実に差し込まれているか確認してください。 →「第2章 本製品の取り付け」(P.8)
動作がおかしい。	ケーブルは正しく接続されていますか。	ディスプレイと本製品を添付されているケーブル及びコネクタを使用して接続してください(サーバ本体のディスプレイコネクタには接続しないで下さい)。コネクタ部が奥まで確実に差し込まれているか確認してください。 →「第2章 本製品の取り付け」(P.8)
	本製品が正しいPCI Slotに確実に搭載されていますか。	サーバ本体の電源を切り、カードが正しいPCI slotに確実に差し込まれているか確認してください。 →「第2章 本製品の取り付け」(P.8)
	サーバ本体の設定は正しいですか。	サーバ本体に添付のユーザーズガイドに従い、設定を確認してください。